

科目名	マルチメディア演習			ナンバリング	ICT341	授業形態	演習
対象学年	2 年	開講時期	前期	科目分類	選択	単位数	1 単位
代表教員	中尾剛	担当教員	高橋義考				

授業の概要	音声、静止画像、アニメーションや動画などのマルチメディアデータをコンピュータで扱うための知識と技術を習得する。まず、音声、静止画像、動画などのマルチメディアデータの種類、それぞれの特徴(記録方式、圧縮方式)などの基本的な知識を習得する。次に、静止画像の編集、加工などの基礎技術を習得する。さらに、音声ファイルや動画画像の編集、加工などの基礎技術を習得することを目的とする。						
到達目標	1. 文字データの取り扱いについて説明することができる。 2. 画像データの取り扱いについて説明することができる。 3. オーディオデータの取り扱いについて説明することができる。 4. 動画データの取り扱いについて説明することができる。 5. マルティメディアコンテンツの作成について説明することができる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	講義内で提示されるキーワードは必ず書き出し、その意味を説明できるようにする。ただし、用語は定義だけではなく、活用例や考え方も重要であることを理解しておく。講義で示されるまとめのスライドなどを自分の言葉で説明できるようになることを一つの目標として学習に取り組む。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
	○	2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
		3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
		4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
		5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわし関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
①文字データの取り扱いについて説明することができる。 ②画像データの取り扱いについて説明することができる。 ③オーディオデータの取り扱いについて説明することができる。 ④動画データの取り扱いについて説明することができる。 ⑤マルティメディアコンテンツの作成について説明することができる。	①文字データの取り扱いについて自在に操作することができる。 ②画像データの取り扱いについて自在に操作することができる。 ③オーディオデータの取り扱いについて自在に操作することができる。 ④動画データの取り扱いについて自在に操作することができる。 ⑤マルティメディアコンテンツを自在に作成することができる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート	○	○			○		70%
宿題・授業外レポート	○						20%
授業態度・授業への参加			○	○			10%

課題、評価のフィードバック	1 小テストは授業の中で解説する。 2 小テスト解答用紙は、学生から要請があったらいつでも開示できるよう準備しておく。
---------------	--

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	マルチメディアとは	コンピュータで取り扱うマルチメディアについて説明する	
	第2回	文字データ	テキストデータとファイルについて説明する	
	第3回	日本語とバイナリーデータ	マルチバイト文字とアプリケーションのバイナリーデータについて説明する	
	第4回	画像データ	画面に投影される画像の仕組みについて説明する	
	第5回	画像ファイルの形式	画像を保存するファイル形式と圧縮方法について説明する	
	第6回	写真の加工(その1)	ソフトウェアを用いて写真を加工する基本操作について説明する	
	第7回	写真の加工(その2)	被写体の切り出し、合成の実習を行う	
	第8回	デジタルオーディオ	デジタルオーディオの仕組みについて説明する	
	第9回	音声の編集	音声の切り出し、ピッチ変換などの加工を行う	
	第10回	スライドショーの作成(その1)	写真を組み合わせたスライドショーの作成について説明する	
	第11回	スライドショーの作成(その2)	写真を組み合わせ、BGMを入れたスライドショーを作成する	
	第12回	ビデオ制作(その1)	素材動画を編集するビデオ制作について説明する	
	第13回	ビデオ制作(その2)	素材動画を編集するビデオの制作を行う	
	第14回	ビデオ制作(その3)	素材動画を編集するビデオの制作、相互評価を行う	
	第15回	まとめ	1回から14回までの講義をまとめ、それぞれの要点について説明する	
	試験	実施しない		
授業の進め方		基本的に講義と質疑応答とする。單元ごとに課題を提示する(結果を評価に含む場合は、事前に知らせる)。		
授業外学習の指示		manab@IMUで提示する資料を中心に講義の内容を復習する。不明な点は必ず事前に調べるか教員に質問すること。余裕があれば、次回の講義に対応する資料の該当箇所を読み、概要を理解しておく。 (授業外学習時間: 毎週 90 分)		

教科書	なし
参考書	講義中に紹介する
参考URLなど	講義中に紹介する
その他	

ルーブリック「マルチメディア演習」

評価規準 項目／観点		レベル高 ← 評価基準 → レベル低		
		レベル3（模範的、理想的）	レベル2（標準、合格）	レベル1（要改善、不合格）
1	音声加工能力	与えられた素材ファイルから指定された加工をスムーズにおこなうことができる	与えられた素材ファイルから指定された加工をマニュアルなどを参照しながらおこなうことができる	指定された加工を行うことができない
2	写真加工能力	与えられた素材ファイルから指定された加工をスムーズにおこなうことができる	与えられた素材ファイルから指定された加工をマニュアルなどを参照しながらおこなうことができる	指定された加工を行うことができない
3	スライドショー作成能力	与えられた素材ファイルから指定された加工をスムーズにおこなうことができる	与えられた素材ファイルから指定された加工をマニュアルなどを参照しながらおこなうことができる	指定された加工を行うことができない
4	ビデオ制作能力	与えられた素材ファイルから指定された加工をスムーズにおこなうことができる	与えられた素材ファイルから指定された加工をマニュアルなどを参照しながらおこなうことができる	指定された加工を行うことができない
5				
6				
7				